



大阪科学・大学記者クラブ 各位

公立大学法人大阪市立大学

**大阪市立大学大学院
生活科学研究科長・生活科学部長 を選出しました**

平成23年11月15日（火）、大阪市立大学大学院生活科学研究科教授会は、次期 大学院生活科学研究科長・生活科学部長に畠中 宗一（はたなか むねかず）を選出しました【新任】。任期は、平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間です。

今回の選出は現研究科長・学部長の任期満了（平成24年3月31日）に伴うものです。

（参考資料）畠中 宗一 略歴

【本件にかかるお問い合わせ先】
大阪市立大学 学務企画課 生活科学部担当 森田
TEL : 06-6605-2800 FAX : 06-6605-3086

大阪市立大学大学院生活科学研究科長・生活科学部長 略歴

- 1 氏 名 畠中 宗一 (はたなか むねかず)
- 2 年 齢 60歳
- 3 専門分野 家族臨床学
- 4 任 期 2年間(平成24年4月1日から平成26年3月31日まで)
- 5 学 位 博士(学術) 平成11年3月取得
- 6 最終学歴 昭和55年 6月 筑波大学 大学院社会科学研究科社会学専攻
博士課程 単位取得退学
- 7 職 歴 昭和55年 4月 沖縄キリスト教短期大学保育科講師
昭和58年 4月 同 保育科助教授
昭和62年 4月 中国短期大学幼児教育科助教授
平成元年 4月 東洋大学短期大学教養課程助教授
平成3年 10月 大阪市立大学生活科学部 助教授
平成10年10月 同 教授
平成13年 4月 大阪市立大学生活科学研究科 教授
現在に至る
- 8 選出年月日 平成23年11月15日
- 9 主な業績
主な著書(単著)
『家族臨床の社会学』(世界思想社 2000年)
『子どもの家族支援の社会学』(世界思想社 2000年)
『家族支援論』(世界思想社 2003年)
『情緒的自立の社会学』(世界思想社 2007年)
『富裕化社会に、なぜ対人関係(IPR)トレーニングが必要か』(ぎょうせい 2009年)
主な論文(単著)
「関係性のなかでの自立:その意義と課題」(『家族心理学年報』2010年)
「山根家族論の家族支援論への応用と展開」(『家族問題研究』2009年)
「富裕化社会における家族問題の多発化:その背景と意味」(『青少年問題』2006年)
ほか
- 10 その他 現生活科学研究科長 多治見 左近 の任期満了に伴う選出